

へ"議会だより つかい

第90号

2019年8月

別海の道路のように
見通しのよい議会運営を目指す

特集 政策議会を目指し 議会改革を強化 2

計画的な調査により委員会活動を強化.....	4
定例会のトピックス.....	6
一般質問（中村、田村、横田、宮越の4議員）.....	8
研修報告.....	11
議会のうき.....	13

シリーズ 町民に聞きました 「議会モニターに聞く」14



北海道別海町議会

政策議会を目指し議会改革を強化

当議会は、6月21日に第2期別海町議会活性化計画を策定しました。改選前に取り組んだ第1期計画の基本理念を踏襲し、4つの基本方針の下に2つの重点計画と25の基本計画を掲げ、議会の活性化に取り組みます。

第2期別海町議会活性化計画（抜粋）

I 別海町議会の理念と方針

1 基本理念

第2期活性化計画では、「町民参加」と「情報共有」を議会運営の基本とし、4つの方針の実現を目指します。

2 基本方針

（1）分かりやすい議会

一人でも多くの町民と対話し、調査のヒントを得るとともに、議会制度の活用を町民に促すことで「分かりやすい議会」を目指します。

（2）結果を出す議会

町民の声や執行機関の事務事業を分析し、議員間討議を行い、計画的な委員会調査を行います。研修を重ね議員力を高め、町政に町民の声を反映する「結果を出す議会」を目指します。

（3）開かれた議会

委員会間の連携により政策横断的な町政課題への対応力を高めます。「開かれた議会」を推進し、内部・外部評価をもとにさらなる一手を講じる議会を目指します。

（4）行動する議会

これまでの監視機能・調査

機能だけでは、人口減少時代の持続可能なまちづくりが危ぶまれます。議会基本条例を制定し、「政策議会」への転換により町民の期待に応える「行動する議会」を目指します。



東川町の行政視察

Ⅱ 重点計画

重点計画1

議会基本条例の制定

自治基本条例に規定されている議会の役割、権利、責務および運営などだけでは、現在の議会活動および議員活動の上位規範とするには不足が生じています。議会活動の規範となる「議会基本条例」の制定を重点計画とします。

重点計画2

委員会の調査力および政策力の向上

本格的な少子化、超高齢化社会を迎えた別海町が人口減少時代に立ち向かい、持続可能な自治体経営を続けるためには、議会の政策立案機能求められるています。このため、委員会活動のPDCAサイクルを推進し、政策提言・政策論議につなげます。

Ⅲ 基本方針を踏まえた基本計画および取組計画

基本方針1

「分かりやすい議会」を実現するための基本計画

- ・議会活動の報告
- ・意見交換会の強化
- ・議会モニター制度の改善
- ・新たな広聴制度の実施

基本方針2

「結果を出す議会」を実現するための基本計画

- ・政策提案にかかわる議員の資質向上
- ・自己研鑽^{けんさん}にかかわる議員の資質向上

- ・議会研修会の充実
- ・議員間討議の活性化
- ・調査力の向上
- ・反問権の付与

基本方針3

「開かれた議会」を実現するための基本計画

- ・議会活性化計画の検証と評価
- ・事務局によるサポート体制の強化
- ・政策形成サイクルの確立
- ・議会内部の情報共有
- ・議会からの情報発信
- ・議決結果と賛否の公表
- ・傍聴したい議会、参加したい議会の実現

基本計画4

「行動する議会」を実現するための基本計画

- ・議会基本条例の制定
- ・正、副議長選挙の立候補制



委員会で行う現地調査



白熱した議論を重ねる議場



こちらのQRコードから詳細をご覧ください。

- 導入
- ・議会制度の研究
- ・災害に対応する議会
- ・審議会等委員への就任辞退
- ・公正、公平な委員などの選任
- ・議会費の確保
- ・政治倫理にかかわる議員の資質向上

※計画の詳細は、ホームページで公表しています。

計画的な調査により 委員会活動を強化

選挙後の初議会を経て、常任委員会の構成が決定し、総務文教・福祉医療・産業建設の3常任委員会ともに公共施設や各種計画の更新予定、本年度の事業計画などを調査し、議員任期の4年間にわたる調査計画を作成しました。

作成の目的は、調査のタイミングを逃したり、広く浅い調査により調査結果が散漫とならないように計画性をもった委員会活動を行うためです。第2期別海町議会活性化計画の重点計画の一つである「委員会の調査力および政策力の向上」を推進するために取り組みました。

各委員会の4年間の調査計画、委員の任期である2年間で取り組む重点調査計画について以下のとおり報告します。これらの計画については、毎年度当初に調査の目的、論

点などの詳細を協議するほか、2年後に行う委員会構成の変更後には、計画の見直しを行います。調査結果は、議会ホームページで要点記録を公開しているほか、議会報告会などの場で随時町民の皆さんに報告の機会を設けます。



委員会の様子

総務文教常任委員会 調査計画（令和元年度～4年度）

1 令和元年度年間調査計画

- 別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 企業振興政策の総合的な検討について
- 移住・定住の促進について
- 北方領土隣接地域振興等事業の推進について
- 行財政改革の推進について
- 防災避難訓練、避難所運営マニュアルおよび備蓄品配備計画について
- 公共交通機関の維持・確保対策事業について
- 小中学校適正配置計画、各学校の経費および児童・生徒数の見通しについて

- 学校教育の充実および児童・生徒の生き抜く力向上につながる事業について
- 別海中央小学校の長寿命化計画および野付小学校大規模改修工事について
- 北海道別海高等学校教育支援事業（寄宿施設等助成事業、通学費助成、部活動等派遣費補助事業、外部指導者派遣事業）について
- 心の問題への対応について
- 各スポーツ・教育文化施設の経費、利用人数および課題について
- 学校給食センター改築事業について

2 令和2年度から4年度の主な調査予定

- 別海町特定事業主行動計画について
- 第7次別海町総合計画の見直しについて
- 別海町公共施設等総合管理計画について
- 本別海地域センターについて
- 総合的な防災体制の確立について
- 学校施設および設備の整備について
- 学校と地域の連携について
- 別海高校への教育支援事業について
- まちぐるみでの青少年健全育成体制の確立と教育力の向上について
- スポーツや文化活動を通じたふるさと学習への取り組みについて
- 図書館および郷土資料館の現状と課題、ならびに計画について
- 別海町子どもの読書活動推進計画について
- 生涯学習センター建設事業について

3 重点調査計画（令和元年度から2年度）

- 災害対策について
- 人口減少対策について
- 小中一貫教育および別海高校の魅力向上について

総務文教常任委員会
防災、別海高校支援などを重点調査

福祉医療常任委員会 調査計画（令和元年度～4年度）

1 令和元年度年間調査計画

- 別海町子ども・子育て支援事業計画の更新について
- 医療機械器具の整備について
- 高齢者関連施設の整備・充実について
- 墓地・斎場の維持管理の充実について
- 地域医療体制の充実および健全な病院経営の推進について
- 高齢者支援体制の整備および地域支援事業の推進について
- 総合的な健康づくりの推進について
- 母子保健の充実について
- 精神保健対策の推進について

2 令和2年度から4年度の主な調査予定

- 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について
- 障がい福祉計画・障がい児福祉計画について
- 医療機械器具の整備について
- 別海町子ども・子育て支援事業計画について
- 地域医療体制の充実および健全な病院経営の推進について
- 最終処分場の長寿命化およびし尿処理場の維持補修について
- 総合的な健康づくりの支援について

3 重点調査計画（令和元年度から2年度）

- 子ども・子育て支援について
- 東部地区介護拠点施設について

福祉医療常任委員会
子育て支援、東部介護施設を重点に

産業建設常任委員会 調査計画（令和元年度～4年度）

1 令和元年度年間調査計画

- 各産業の後継者対策について
- 別海町酪農研修牧場の維持・補修、研修生の確保などの課題について
- 別海町酪農工場の維持・補修、地域ブランド確立などの課題について
- バイオガス関連施設について
- 「食」を通じた消費と生産の関係強化と魅力ある情報の発信について
- 既存の種苗育成施設を生かした新魚種の育成について
- 林業生産基盤の保全・整備および民有林整備の推進に関する事業について
- 3館連携、物産拠点など中心市街のにぎわい創出施策について
- 観光客宿泊客数の状況およびふるさと交流館について
- 観光・交流資源の充実および活用について
- 新しい観光メニューの確立について
- 別海町空家等対策計画に基づく空き家解体事業について

2 令和2年度から4年度の主な調査予定

- 別海町農業・農村振興計画について
- 別海町酪農・肉用牛生産近代化計画について
- 別海町酪農研修牧場の維持・補修、研修生の確保などの課題について
- 草地整備などに関する事業について
- 担い手対策などに関する事業について
- バイオガス関連施設について
- 「食」を通じた消費と生産の関係強化と魅力ある情報の発信について
- 既存の種苗育成施設を生かした新魚種の育成について
- 林業生産基盤の保全・整備および民有林整備の推進に関する事業について
- 自然環境の保全と活用について
- 観光客宿泊客数の状況およびふるさと交流館について
- 別海町耐震改修促進計画について
- 水道事業の健全運営について
- 特定環境保全公共下水道事業について
- 別海町終末処理場ほか長寿命化計画について

3 重点調査計画（令和元年度から2年度）

- 別海町酪農研修牧場について
- ふるさと交流館について

産業建設常任委員会
研修牧場、ふるさと交流館を重点に

地域おこし協力隊推進事業に質疑集中

この制度を積極的に活用し、移住定住、観光振興、酪農の担い手対策など広い分野で3名を採用する

地域おこし協力隊制度を活用する市町村が、全国で1000団体を超えており人材の確保が大変困難な状況ですが、現在、商工観光課に1名配置しているほか3名分の予算経費を補正します。

この地域おこし協力隊推進事業には、募集経費として200万円、加えて一人当たり400万円を限度に特別交付税の財政支援があります。

町としても各分野で何を期待するのか、具体的な業務をはっきりさせた中で、積極的にこの制度を活用していきます。

平成27年度からこの制度を活用していますが、過去の課題をしっかりと検証し、議論を深めて募集・採用事務を進め、制度の狙いである地域への定住、定着を図るべきとの

質疑がありました。

これまでに、1名の方が3年間勤めあげて別海町に就職され定住しています。

外から来た方々の目で、地域ブランドや、地場産品の開発、販売やPRなどに力を発揮してもらうため、観光振興に携わる協力隊は、現在の1名に追加して2名体制に強化されることになります。

(文責 田村委員)



協力隊を経て別海に定住した倉持龍太郎さん

福祉・介護拠点施設の老朽化に対応

ケアハウスみどり野とケアセンターかしわ野の設備修繕費、調理備品更新のため298万円を増額補正

身体機能の低下や、独立して生活するには不安の認められる高齢者が自立した生活を維持するため入居する「別海町ケアハウスみどり野」があります。

また、介護などにかかわる総合的相談に応じ、介護を要する高齢者などとその家族の多様なニーズに対応する「西春別ケアセンターかしわ野」があります。

この両施設はいずれも建設から約20年が経過し、施設の設備機器、備品などの老朽化が進んでいます。

本定例会において、「ケアハウスみどり野」の暖房設備である膨張タンクの更新、「ケアセンターかしわ野」の施設内における水道水循環用ポンプの分解整備のため修繕費の補

正予算が計上されました。

また、デイサービス利用者の食事と、高齢者などのみの調理が困難な世帯への栄養バランスのとれた配食サービスのために必要な食器消毒保管庫の更新費用も計上されました。

委員会の議案審査において、施設利用者に不便とならないよう計画的な対応ができないのか質疑をしたところ、細かに施設管理者および保守点検業者と協議を行い、今後の修繕計画を検討していると所管から回答がありました。

今後も高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう老朽施設の維持補修計画を調査します。

(文責 横田委員)

基金を設置し計画的な森林管理を

森林環境譲与税により計画的な森林管理を行うため
新たに基金条例が制定されました

本年4月1日から「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が施行されました。この、国の法整備に伴い、国が徴収する森林環境税を財源として、地方自治体には森林環境譲与税が毎年交付されることとなりました。

町は、森林環境譲与税を活用した森林整備の予算執行に向けて、新たに基金を設置し効果的な森林整備を行うことが可能になるという理由から「別海町森林環境譲与税基金条例」の案を本定例会初日に提出しました。

産業建設常任委員会に審査が付託され、森林環境譲与税は、本町の森林整備の推進に大きく寄与する貴重な財源であり、基金を設置することで単年度の収入を年度内に執行

する非効率な運用を避け、計画的かつ効率的な予算執行が可能となることから、基金条例の制定は必要であると判断しました。

定例会最終日に委員長報告の後、全会一致で原案の通り可決されました。

(文責 宮越委員)



森林には公益的機能があり維持増進の必要がある

みんなの声を国政に

意見書

2件(全会一致で可決)

北方四島交流訪問団参加議員の言動に対する嚴重抗議及び一刻も早い北方領土問題の平和的解決を求める意見書

提出者 戸田憲悦議員ほか4名

令和元年第1回目の北方四島交流訪問で、一部国会議員が、今までの返還運動の努力を無にするかのような発言をしました。このことは、北方領土問題の解決に向けた環境づくりを進める四島交流の意義を否定するものです。

今後の派遣国会議員の人选においては、四島交流の意義を十分理解し、訪問後も積極的に返還運動に汗を流していただける派遣議員が人選されるよう、必要な対策を要望しました。

また、今回の問題が、各種事業に悪影響を及ぼすことのないよう、政府としても必要

な対策を講じるとともに、一刻も早い北方領土問題の平和的解決に向けて、外交交渉を強力に推し進めることを要望しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 総務文教常任委員会
委員長 松壽 孝雄

新年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスを中心とした社会保障関連予算の充実と地方財政の確立を目指すことが必要です。

そのために、社会保障関連予算の確保および地方財政措置、人口減少対策、地域医療の確保などを的確に行うこと。

また、自治体の基金残高を地方財政計画や地方交付税に反映させないことなどを要望しました。



議員4人による一般質問

質問 投票率を向上させるための方策は



中村忠士議員

質問 4月の別海町議会議員選挙の投票率は72・1%。釧根管内で町村議選が行われた中では最低の投票率だった。投票率向上の方策を聞きたい。

答弁 7月21日執行予定の参議院選で試行的に西春別、尾岱沼地区に期日前投票所を開設する。尾岱沼は7月13日、東公民館、西春別は14日、西春別ふれあいセンターで、投票時間は午前8時30分から午後6時までを予定。

質問 若い有権者への働き掛け、高校生や小中学生に対する有権者教育が重要と思うが、どうか。

答弁 成人式でのパンフレット

回答の要約

西春別地区、尾岱沼地区に一日ずつ試行的に新たな期日前投票所を開設する。投票区を限定せず誰でも投票できる。

ト配布や生徒会選挙での投票箱、記載台などの貸し出しを実施。本年度から選挙の出前講座を設けている。

また、職場では、会社の上の方々から投票行動を呼びかけていただくような手だてをとっている。

答弁 各学校現場で、社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成するとともに、別海町こども未来議会などの取り組みを実施し、子どもたちが身近に感じられる有権者教育を進めている。

質問 投票所に向くのが困難な方へのサポートが必要

ではないか。

答弁 高齢化が進む中で重要な支援であると認識している。難しい問題だが、引き続き検討していく。

国や道の選挙管理委員会に、郵便による不在者投票制度の拡充を求めていく。

「子ども権利条約」を積極的に普及すべき

質問 国連子ども権利委員

会は、「子どものために働く全ての者を対象として、子どもの権利条約に関する具体的な研修を定期的に実施すること」と、日本政府に勧告している。実施の計画はあるか。

答弁 条約の理念は、子どもの教育に携わる者にとっては基本となるものと考えている。いろいろな機会で条約を周知する方法があると思っている。

質問 権利委員会は、日本の学力テストなどによる競争の激化を懸念し、「ストレスの

多い学校環境、過度に競争的なシステムから、子どもを解放する措置を強化すること」と勧告している。方策は。

答弁 学力調査の結果数値を公表している自治体もあるが、本町では、過度な序列や競争心をおおることのないよう、全道、全国より高い、低い、などの表現で公表している。

子どもたちの未来を見据え、生き抜く力を高める教育を進める。



生き抜く力を高める教育を推進する別海町



詳細はこちらのQRコードから

議員4人による一般質問

本年3月に策定された第7次総合計画の策定作業において、策定審議会委員などの町民の意見反映や議会の議決について質問し、まちづくりの基本姿勢を求めました。

近隣の町や道内市町村の85%が議会の議決を経て策定していることを述べました。

このことについては、総合計画の見直しに向けて、取り上げていく必要があると答弁がありました。

次に、人口減少問題について、出生率の達成や転出者の抑制に向けた具体的な施策を質問し、総合計画の目標に向けた町の努力を求めました。



田村秀男議員

質問 総合計画は 議会の議決が必要では

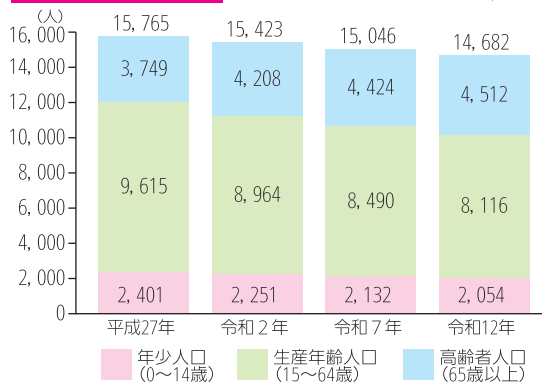
回答の要約

総合計画は、議会の議決も考え、人口目標値は、想定を上回る推計値なので見直しを検討する。

今後予定される「第2期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、将来人口の目標数値は大変厳しい推計値なので見直しを検討すると答弁がありました。

将来人口の推移

※平成31年3月末現在の人口14,980人



少年団や部活動の大会遠征費は、親が負担するのは当然のことですが、ホテル代やバス代が高騰しており、支援の強化を求めました。

別海町は、管内4町、道内と比較しても助成制度が厚いとこの答弁でした。

実情を考えると支援の充実が必要であり、次の機会に質問します。

建設予定の生涯学習センターについて、高齢者にやさしい施設であるか、設備、明るさ、空調、談笑スペースの有無を質問しました。

町の広報で特集を組み、施設概要の周知を徹底するとの



横田保江議員

質問 大会遠征費 助成制度の見直しを

回答の要約

管内の町村と比較しても低い水準の助成ではないが、実情を精査し適切な助成内容を検討する。

答弁がありました。

最近、開発され発売となっている乳児用の液体ミルクを避難所の備蓄品に加えるよう求めたところ、アレルギー対応など商品を十分調査した上で、配備については今後検討するとの答弁がありました。



全道大会への遠征に向けて表敬訪問する別海中央中のキャプテンたち



議員4人による一般質問

質問 戦略的に 北方基金の有効活用を



宮越正人議員

地域振興、世論形成、元居住者援護を用途とする北方基金の交付先の約7割が根室市です。管内で大きな差異が生じている、その事情を質問し、戦略的視点で漁協などと協議した上での有効活用を求めました。

答弁では、必要な振興策などを拾い上げ、今後設けられる首長間での話し合いのテーブルに載せていきたいと見解が示されました。

次に、投票率の向上を目的に期日前投票の拡充を求めました。

本年7月の参議院議員選挙において尾岱沼および西春別

回答の要約

次年度から、管内首長で検討する。申請に当たっては、町も積極的に関与する。

駅前二期日前投票所を1日開設するとの答弁がありました。統一地方選挙の時期は漁業が大変な繁忙期であることを訴え、今後の投票機会の拡充を求めました。



北方基金を活用して漁場造成を

— 令和元年度 別海町議会 —

議会 報告会

11月頃の開催を予定しています

日時や会場についての詳細は、今後、議会だよりやチラシ、ホームページなどでお知らせします。

皆さんお誘い合わせのうえ
お気軽にお越しください。



主催：別海町議会 問合せ：別海町議会事務局 ☎0153-75-2111

美瑛!!未利用施設活用で地域アピール

令和元年6月24日 美瑛町 bible (ブルブ)

当議会では、毎年、札幌市で開催される北海道町村議会議員研修会に参加する行程を利用して、全議員による視察研修を行っています。

本年は、旧北瑛小学校の廃校を活用し、レストランやホテルの営業による食文化の発信や人材育成を行っている美瑛町を視察しました。

「丘のまち」の食材を使った料理がお客様に提供されています。森林組合の協力により調達される薪と石釜で焼かれるパンは絶品です。

住み込みの研修生が、コース料理、パンづくり、接客などを学びながら働いており、納めた授業料相当分は、給料として還元されています。

指導は、著名な料理雑誌の創刊者である齋藤壽氏が行っています。

学校のグラウンドが小麦畑



地元の素材を使ったパンも販売している

に再生された廃校跡地は、技術や食材にあふれていました。地域に根を下ろして取り組まれる廃校の利活用は、まさに地方創生を実感しました。

美瑛町では、このほか、町内に2力所ある道の駅を視察し、当町の商工会が構想を持つ物産拠点に関する今後の調査に向け、知見を深めました。

(文責 瀧川委員)

神社のおさい銭がスマートフォンで?

令和元年6月25日 札幌コンベンションセンター

北海道町村議会議員研修会が札幌市で開催され、全道各地から約1500名の議員が参加しました。

政治評論家の有馬春海氏は、人口減が続く、外国人労働者に頼る傾向の日本社会は、今後、AI（人工知能）が農作業や医療機関などで活用されていく。

●「キャッシュレス」の機能が世界で広まる中で、日本は整備が不十分で外国人観光客などから改善が求められている。

今後は、神社にまでQRコードが置かれ、おさい銭が振り込まれる時代になってくるだろうと話されました。

中央大学名誉教授の佐々木信夫氏は、

●2050年には人口が約9500万人になり、高齢化率が約40パーセントになる予想である。

●地域サービスが崩壊的になり、住民の生活が変化せざるを得ない状況になる。

●議会は、報告会などをやるだけでは不十分であり、通年制を取り入れたり、新しいコミュニケーションの手段を取り入れたりして住民とのやり取りが大切になってくる。

知恵を出し合い議会を運営することが大切である、などのアドバイスをいただきました。

(文責 外山委員)



閉会式直前の参加者

北海道町村議会議長会第70回定期総会

令和元年6月11日 札幌市ポールスタール札幌

定期総会終了後「これから
の地方議会」統一地方選挙を
振り返って」と題して北海道
大学の山崎幹根教授の講演が
行われました。

市町村選挙の動向としては、
①地方議会に対する住民の期
待が薄まっている。②議員の
役割が変わってきている。③
地域で選挙をやる気力が失わ
れてきていることなどがあげ
られました。

また、社会経済的環境の変
化として、社会における人と
人とのつながりの変化、町内
会や自治会の加入率の低下、
地域代表、団体代表の政治力
の低下などがあげられました。
そのような課題を抱えては
いますが、町村議会活性化に
向けて①自己改革②実現可能
な制度改革③住民に地方議会
に対する努力を行っていくこ
とが必要と述べられました。

当議会では、住民参加の制
度を充実させ、議会活性化を
進めてきました。

その活動は議会モニターの
評価はもとより、早稲田大学
マニフェスト研究所などの外
部からも高い評価を得ました。

今期策定された「第2期別
海町議会活性化計画」をもと
に議会運営し、持続可能なま
ちづくりを担う政策議会の実
現を目指すことの必要性が再
認識できる講演となりました。

(文責 西原議長)



全道各地から議長・副議長が集まり開催された

全国町村議会議長・ 副議長研修会に参加して

令和元年5月28日 東京国際フォーラム

「これからの町村議会を考え
る」として、「町村議会議員の
議員報酬等のあり方」につい
て各大学の先生から話があり
ました。

首都大学の長野基准教授、
山梨学院大学の江藤俊昭教授、
明治大学の牛山久仁彦教授か
らは、議員報酬は議員の役割
と活動に重点をおき、各町村
の状況に応じて具体的に検討
し、住民の理解を促進し議員
活動を担っていただけるだけの報
酬のあり方を検討する必要が
ある。

また、議員定数は一度削減
すれば戻せないこと、なり手
不足の解消は議会の活性化を
図り、住民に身近な議会を構
築する努力が必要であること
などを述べられました。

また、多様な民意を的確に
反映するために必要な報酬と
定数を確保すべきであると説

いていました。

各町村議会からは、「小規模
議会の在り方を求めて」夜間・
休日議会の挑戦」を長野県
喬木村議会が、「町民に寄り添
う議会を目指して」を鳥取県
若桜町議会が、「町民に信頼さ
れ存在感のある議会を目指し
て」を京都府与謝野町議会が、
それぞれの特色ある取組を報
告されました。

(文責 戸田副議長)



講演に先だち挨拶をする全国町村議会連合会会長

議会のうごき 3月定例会終了後から6月定例会まで

1 議長、副議長、各議員（委員）の動向について

期 日	内 容	備 考
3月9日	釧路外環状道路及び釧路中標津道路上別保道路開通記念式・通り初め式（釧路町）	議長
3月21日	別海愛光幼稚園新園舎披露・落成式（別海町）	議長
3月22日	別海町国営環境保全型かんがい排水事業促進期成会総会（別海町）	議長
3月24日	根室本線花咲線事業計画説明会（釧路市）	議長
4月1日	議会モニター委嘱状交付式並びに説明会（別海町）	議長・議会運営委員・ 広報・広聴常任正副委員長
4月9日	北海道別海高等学校入学式（別海町）	議長
4月23日	北海道中小企業家同友会くしろ支部別海地区会定期総会（別海町）	議長
4月28日	別海町ジャンボホタテ・ホッキ祭り（別海町）	議長
5月14日	根室町村議会議長会定期総会（羅臼町） 正副議長就任挨拶回り（羅臼町・標津町）	正副議長
5月16日	正副議長就任挨拶回り（別海町・中標津町）	正副議長
5月17日	正副議長就任挨拶回り（別海町・根室市）	正副議長
5月19日	別海消防団総合訓練大会（別海町）	議長
5月20日	別海町商工会通常総代会（別海町）	議長
5月21日	別海町酪農後継者を育てる会総会（別海町）	議長
5月24日～26日	東京・別海ふるさと会定期総会（東京都）	議長
5月25日	別海町植樹祭（別海町）	副議長
5月27日～29日	町村議会議長・副議長研修会（東京都） 地元選出議員及び北方担当大臣挨拶回り（ 〃 ）	正副議長
5月29日	別海町スポーツ合宿受入協議会総会（別海町）	議長
5月30日	結婚相談所運営委員会	副議長・各常任委員長
6月3日	根室地方総合開発期成会定期総会（根室市） 地域高規格道路根室中標津道路整備促進期成会総会（ 〃 ） 根室教育振興会定期総会（ 〃 ） 根室教育研究所維持委員会（ 〃 ）	議長
6月7日	地域高規格道路釧路中標津道路整備促進期成会総会 中標津空港利用促進期成会総会（中標津町）	議長
6月11日～12日	北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）	議長
6月16日	根室管内消防団員技能競技訓練大会（別海町）	議長

※備考欄には、公務として出席している議員を記載しており、公務外で地域行事などに参加している議員については記載していません。

2 本会議および委員会など各種会議の開催について

期 日	内 容	備 考	期 日	内 容	備 考
4月1日	第7回議会運営委員会	全委員5名・議長	6月14日	第3回全員協議会	全議員16名
5月8日	正副議長選挙に伴う所信表明会	全議員16名		第2回全員協議会協議会	全議員16名
5月9日	第1回臨時会	全議員16名		第3回総務文教常任委員会協議会	全委員5名
5月23日	第7回広報・広聴常任委員会	委員6名		第2回福祉医療常任委員会協議会	全委員5名・議長
5月24日	第3回福祉医療常任委員会・ 第1回福祉医療常任委員会協議会	全委員5名		第3回産業建設常任委員会協議会	全委員5名
5月27日	第4回総務文教常任委員会・ 第2回総務文教常任委員会協議会	委員4名	6月19日	第8回広報・広聴常任委員会	全委員7名
5月29日	第3回産業建設常任委員会・ 第2回産業建設常任委員会協議会	全委員5名	6月20日	第11回議会運営委員会	全委員5名・議長
5月30日	福祉医療常任委員会正副委員長会議	正副委員長		第4回全員協議会	全議員16名
5月31日	第8回議会運営委員会	全委員5名		第5回総務文教常任委員会・ 第4回総務文教常任委員会協議会	全委員5名
6月4日	産業建設常任委員会正副委員長会議	正副委員長		第4回福祉医療常任委員会・ 第3回福祉医療常任委員会協議会	全委員5名・ 議長
6月6日	総務文教常任委員会正副委員長会議	正副委員長	6月21日	第4回産業建設常任委員会・ 第4回産業建設常任委員会協議会	全委員5名
6月7日	第9回議会運営委員会	全委員5名		第12回議会運営委員会	全委員5名・議長
6月13日	第10回議会運営委員会	全委員5名・議長		第9回広報・広聴常任委員会	全委員7名

議会モニターに聞く「第2期別海町議会活性化計画」

インタビューを受ける人 村上 徹さん（写真左）、青野芳樹さん（写真中央）、
吉田和行さん（写真右）



広報委員

議会を傍聴して感じたことは？

村上さん

改選後の所信表明会を傍聴して、議長・副議長選の所信表明を行うのは素晴らしいと思いました。議会をまとめる立場の人の意見はぜひホームページなどでも公開してほしいですね。

広報委員

議会活性化計画の中で力を入れてほしい内容は？

吉田さん

議会のインターネット中継や動画公開を早く進めてほしいですね。発信するのも簡単になりましたし、何よりスマホなどで動画を見る環境が整っていますので。

SNSを入り口として動画などで情報発信をすることで、若い世代を中心に議会に触れる機会を生み出せると思います。中高生の教育にも活用すると投票率の向上のキッカケにもなりそうですよね。

青野さん 授業などで活用するのは、議会と自分の生活をどう結び付け、その感覚を国政まで繋げていくのか、という意味でも面白い取り組みになりそうですね。

青野さん 別海高校の地域とのかかわりあいや生涯学習センター（仮称）の有効な活用など、近年は委員会の枠を飛び越える内容が増えてきていると思います。

意見交換会などを活用して町民から広く声を拾い上げ、議会では横断的な議論を積極的に行い、行政につなげていってほしい。

村上さん 地域の声を広く深く集め、議会としてどう形にして政策として実現していくのか、それを目指していくのが議会活性化の取り組みに求められているのだと思います。

吉田さん 今年からモニターとしてかわったばかりですが、議会が変わりつつある、動いている、という感触があります。

今後さらに町民目線の議会活性化を進めてほしいです。

（インタビューアー 小椋・瀧川委員）

編集後記

改選後に新しい構成で動き始めた別海町議会ですが、広報・広聴常任委員会としては今号が最初の議会だよりの定期発行となります。

町民の皆さんにより読んでもらえるよう、前号までの振り返りを行い誌面構成のリニューアルを行いました。

3段構成だったものを4段に変更し、定例会の内容など、掲載する内容を精査し、より手に取ってもらいやすい議会だよりを目指しています。

各記事には大きな見出しと内容の要約を可能な限り掲載しており、写真と合わせて流し読みしていただければ大まかな内容を把握できるようにしています。

一般質問の掲載については新しい試みを行っており、これまでと同じ形式の1ページを使用した一問一答形式と、半ページで政策論議の内容をコンパクトにまとめた形式の両方を掲載しています。

議会モニターや町民の皆さんから、どちらの形式が読みやすいかご意見を伺い、次号以降に反映していければと考えています。

ご意見やご感想など、お待ちしておりますので連絡をいただければ幸いです。

（広報・広聴常任委員会

委員長 小椋 哲也）

飲んだら乗るな、乗らせるな、みんなの力で飲酒運転撲滅を!!